

# 平成31年度 全国学力・学習状況調査 における分析結果 報告書

## 授業改善のポイント

### 【調査目的】

- 1 児童の学力の定着状況及び教育課程や指導方法等にかかわる課題及び解決策を明確にし、学力向上施策に生かす。
- 2 教育課程や指導方法等にかかわる課題・解決策を明確にし、児童一人一人の学力の定着と伸長を図る。
- 3 保護者及び市民に対し、本校児童における学力の定着状況について、説明責任及び結果責任を果たす。

### 【調査学年】

- 第6学年 102名

### 【調査日】

- 平成31年4月18日（木）

### 【調査の内容】

「問題作成方針」:「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上に役立つとの視点」から作成されている。

- 1 教科に関する調査〈選択式・短答式・記述式の3種類〉
  - ・国語
  - ・算数
- 2 児童・生徒質問紙調査
- 3 学校質問紙調査

## 目次

1	小学校国語の調査結果	1
2	小学校国語の問題と分析・授業改善のポイント	3
3	小学校算数の調査結果	5
4	小学校算数の問題と分析・授業改善のポイント	7
5	学習や生活に関する調査結果の概要〈授業改善のポイント〉	9
8	各教科等における授業改善のポイント	裏表紙
9	カリキュラム・マネジメント	裏表紙

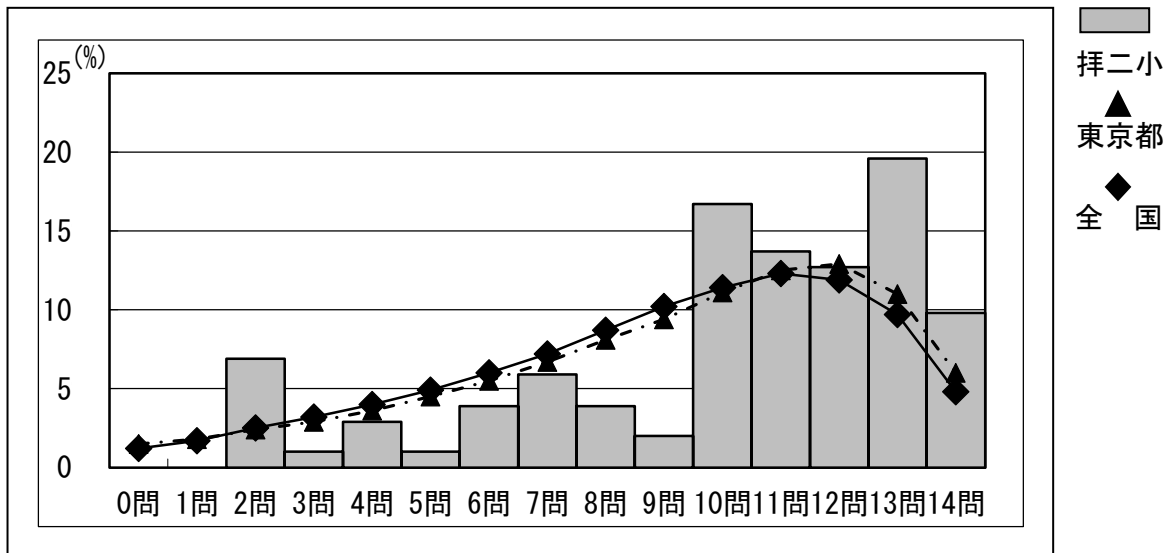
令和元年 8月  
昭島市立拝島第二小学校  
校長 小瀬 和彦

# 1 小学校国語の調査結果

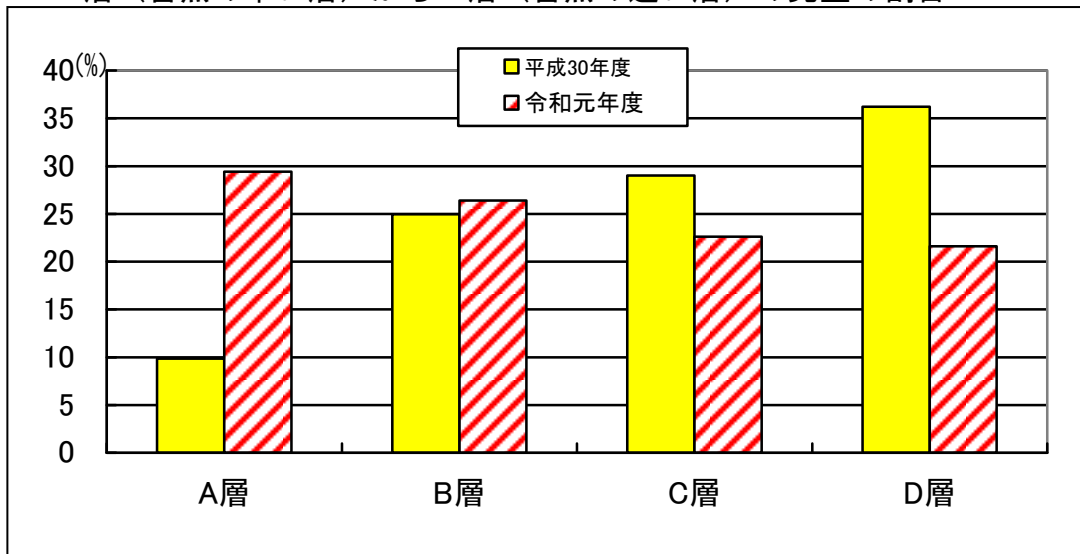
## (1) 国語の調査結果の概要

平均正答率〈%〉	本校 72.0	東京都 65.0	全国 63.8
----------	---------	----------	---------

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：正答した人数の割合）



A層（習熟の早い層）からD層（習熟の遅い層）の児童の割合



## (2) 学習指導要領の領域と観点別結果

国語 平均正答率					
学習指導要領の領域	設問数	[%]	評価の観点	設問数	[%]
話すこと・書くこと	3	78.8	関心・意欲・態度	3	60.5
書くこと	3	58.8	話す・聞く能力	3	78.8
読むこと	3	85.0	書く能力	3	58.8
国語の特質に関する事柄	5	68.4	読む能力	3	85.0
			言語・知識・態度	5	68.4

### (3) 国語の設問ごとの正答率と分析

問題番号	問題の概要	本校		全国（公立）	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1	一 公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する。 〔書くこと〕	77.5%	0.0%	71.2%	0.5%
	二 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2)公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する。 〔書くこと〕	67.6%	3.9%	63.4%	5.9%
	三 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことまとめて書く。 〔書くこと〕	31.4%	5.9%	28.8%	3.8%
	四 (1) ア 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の一部アを、漢字を使って書き直す。(調査のたいしょう) 〔言語〕	57.8%	6.9%	41.9%	8.2%
	四 (1) イ 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の一部イを、漢字を使って書き直す。(ともだちにかぎらず)〔言語〕	83.3%	8.8%	69.4%	12.1%
	四 (1) ウ 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の一部ウを、漢字を使って書き直す。 (かんしんをもってもらいたい)〔言語〕	65.7%	3.9%	35.6%	4.9%
	四 (2) 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って文を2文に分けて書き直す。 〔言語〕	57.8%	12.7%	47.8%	11.3%
2	一 (1) 食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□に入る、疑問に思ったこと①に対する答えとして適切なものを選択する。〔読むこと〕	82.4%	0.0%	80.7%	1.4%
	一 (2) 食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□に入る、疑問に思ったこと②に対する答えになるように考えて書く。〔読むこと〕	80.4%	9.8%	75.9%	5.0%
	二 梅干しづくりについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する。〔読むこと〕	92.2%	1.0%	88.5%	4.2%
1	一 昼職人への【インタビューの様子】の□に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する。〔話す・聞く〕	90.2%	1.0%	81.3%	3.4%
	二 昼職人への【インタビューの様子】の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する。〔話す・聞く〕	76.5%	2.9%	67.4%	4.2%
3	三 昼職人への【インタビューの様子】の□に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する。〔話す・聞く〕 〔関心・意欲・態度〕	69.6%	16.7%	68.2%	14.2%
	四 ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□に入る、適切なものを選択する。 (習うより慣れる)〔言語〕	77.5%	8.8%	73.0%	7.9%



### (3) 小学校国語 授業改善のポイント

◇課題 「目的や意図に応じて、事実と感想、意見を区別して取り出し、比較・関連付けてまとめ、自分の考えが読み手に分かるように書くこと」 **正答率 31.4%**

「自分で課題をもち、活動を報告する文章を書こう」～保健委員会活動～

## I 活動する目的を確認し、学習計画を立てる

健康な生活のために、まず「早寝早起き」活動に取り組んでみたらどうかな。

目標設定

活動計画・内容

実際の活動

【活動報告文の作成過程】

- 1 活動の振り返り（取材）
- 2 構成・記述
- 3 推敲
- 4 交流
- 5 完成・報告

次の活動計画

活動報告文を書いて取り組んだ成果を伝えたい！

次の活動をよりよくするために活動報告文にまとめることが大切なんだ！

## II 活動報告文を書く目的や意図を話し、構成を考える

目的や意図を明確にして活動報告文を書くことが大切です。

文章の種類と特徴について確認し、文章全体の構成の効果を考えることが大切です。

【活動報告文の構成例】

- 〈始め〉 活動の目的  
活動計画・内容
- 〈中〉 活動の成果と課題
- 〈終わり〉 今後の活動の改善策

活動報告文では、実際に活動したからこそ、気付いた成果や課題、課題を解決するための改善策がかけるね！

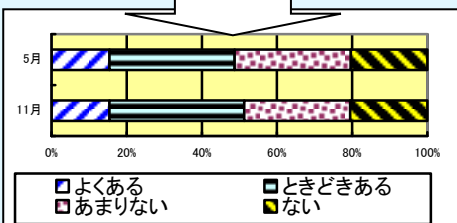
【調査報告文の構成例】

- 〈始め〉 調査の目的や方法
- 〈中〉 調査結果
- 〈終わり〉 調査結果から考えたことや調査後の感想

活動報告文や調査報告文など、文章の種類によって文章全体の構成が違うんだ！

## III 図表やグラフなどで表した活動内容から活動の成果と課題を明らかにし、活動報告文を書く

図表やグラフなどを用いて、課題について読み手に伝わるように記述するために



5月と11月でほとんど変化がない  
⇒次の日に学校がない日に寝る時刻が2時間以上遅くなる人の割合が減っていないことは課題である。

数値や言葉を使って、課題について具体的に記述するために

- 「まず～、次に～、最後に～、第1に～、第2に～、第3に～」
- 「なぜなら～、したがって～」
- 「そこで～、…」
- 「増加、減少、上回る…」
- 「○%、○割、○人…」

図表やグラフなどから読み取ったことを書く際に、指示語や接続語、書く際に使う言葉を例示し、適切に使って課題について具体的に書けるよう指導することが大切です。

課題を解決する方法として、自分の考えを記述するために

〈表2〉寝る時刻が2時間以上遅くなる理由は何ですか。(6年1組11月)

理由	人数
遅くまでテレビを見たり、ゲームをしたりしているから。	20人
夜遅くまで友達とメールなどをしているから。	14人

図表やグラフなどを基にして、課題とその解決方法について自分の考えをまとめ、それらを用いながら書けるよう指導することが大切です。

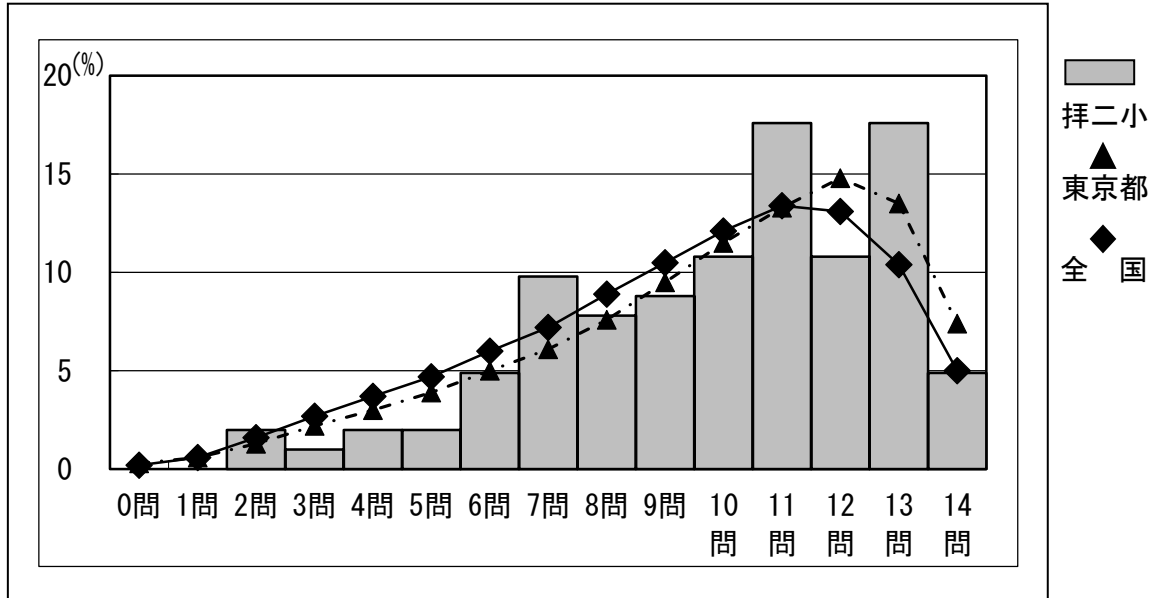
## IV 活動報告会を開き、活動を振り返るとともに次への活動の見通しをもつ

### 3 小学校算数の調査結果

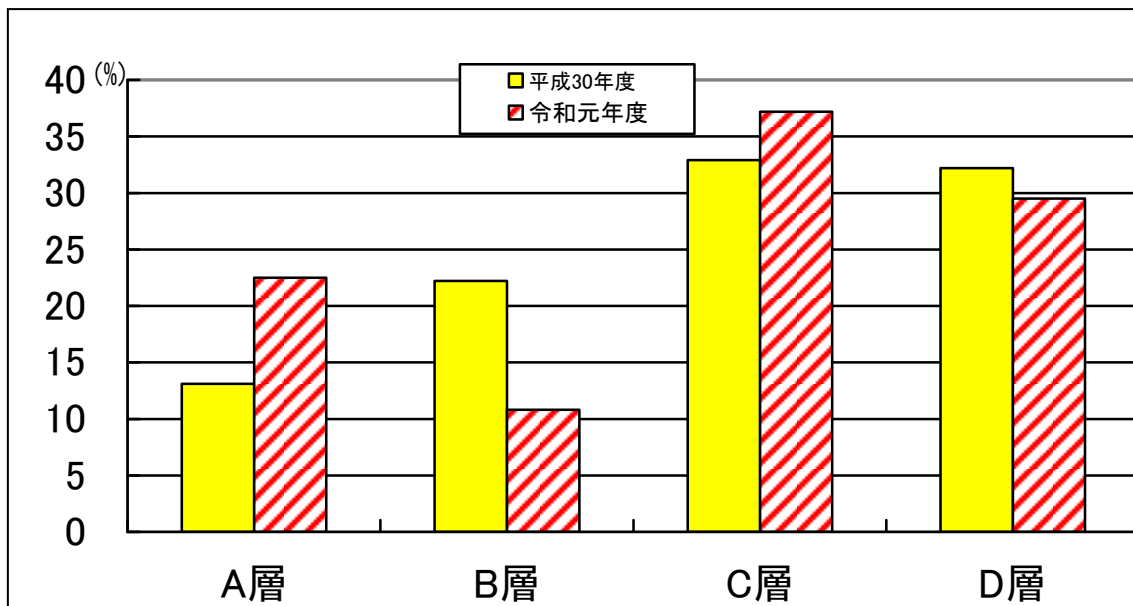
#### (1) 算数の調査結果の概要

平均正答率〈%〉	本校 71.0	東京都 70.0	全国 66.6
----------	---------	----------	---------

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：正答した人数の割合）



A層（習熟の早い層）からD層（習熟の遅い層）の児童の割合



#### (2) 学習指導要領の領域と観点別結果

算数 平均正答率					
学習指導要領の領域	設問数	[%]	評価の観点	設問数	[%]
数と計算	7	68.5	算数への関心・意欲・態度	0	-
量と測定	3	56.5	数学的な考え方	8	65.3
図形	2	82.8	数量や図形についての技能	4	78.9
数量関係	7	73.8	数量や図形についての知識・理解	2	77.9



### (3) 算数の設問ごとの正答率と分析

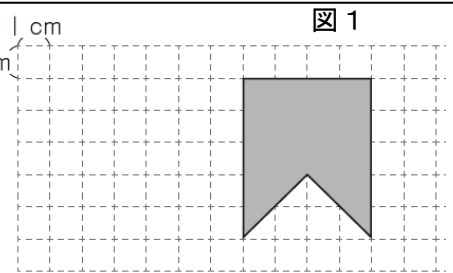
問題番号	問題の概要	本校		全国(公立)	
		正答率	無解答率	正答率	無解答率
1	(1) 長方形を直線で切ってできた図形の中から台形を選ぶ。 [知識・理解]	93.1%	0.0%	93.1%	0.1%
	(2) 二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくりることができる形を選ぶ。 [技能]	72.5%	0.0%	60.3%	0.6%
	(3) 減法の式が、示された形の面積をどのように求めているかを、数や演算の表す内容に着目して書く。 [数学的な考え方]	43.1%	8.8%	43.9%	6.7%
2	(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから分かることを選ぶ。 [技能]	95.1%	0.0%	95.2%	0.2%
	(2) 2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く。 [技能]	84.3%	2.0%	78.6%	1.0%
	(3) 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量について分かることを選び、選んだわけを書く。 [数学的な考え方]	54.9%	2.0%	52.1%	2.0%
	(4) 洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。 [技能]	63.7%	1.0%	60.1%	1.0%
3	(1) $350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。 [数学的な考え方]	88.2%	0.0%	81.8%	0.9%
	(2) 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのか、書く。 [技能]	31.4%	11.8%	31.1%	10.8%
	(3) 被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する。 [数学的な考え方]	83.3%	1.0%	74.9%	2.1%
	(4) $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるものを選ぶ。 [知識・理解]	62.7%	1.0%	47.0%	2.2%
4	(1) だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ。 [数学的な考え方]	84.3%	1.0%	82.7%	1.7%
	(2) 何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求める式を書く。 [数学的な考え方]	65.7%	3.9%	68.6%	4.4%
	(3) 残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する。 [数学的な考え方]	71.6%	3.9%	62.6%	3.5%

## 4 小学校算数の問題と分析・授業改善のポイント

### (1) 算数の問題と分析

#### 【問題の概要】算数①(3)

右の図1の形の面積は、 $16\text{ cm}^2$ であることが分かりました。下の【ちひろさんの求め方】の中の「 $20-4$ 」は、どのようなことをあらわしていますか。「20」と「4」がどのような面積を表しているのかが分かるようにして、言葉や数を使って書きましょう。



#### 【ちひろさんの求め方】

$$\begin{aligned} 5 \times 4 &= 20 \\ 4 \times 2 \div 2 &= 4 \\ 20 - 4 &= 16 \end{aligned} \quad \text{答え } 16\text{ cm}^2$$

◇解答類型 ①20が長方形の面積を表していること。②4が三角形の面積を表していること。③減法が、ある数量からある数量を（またはある図形からある図形を）取り去ることを表していること。

1 (正答)	2	3	4	0
①②③を記入	①②を記入	①③又は②③を記入	左記以外の解答	無解答
43.1%	21.6%	7.9%	16.6%	10.8%

【分析】本問は、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を言葉や数を用いて説明できるかどうかをみる問題である。正答率は、43.1%である。指導に当たっては、①「図や式を関連させて面積の求め方を考える活動」、②「考えた面積の求め方を言葉や数を使って説明する活動」をスモールステップで設定する必要がある。

### (2) 算数の問題と分析

#### 【問題の概要】算数③(2)

ひき算について書かれた【ゆいなさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめるとどのようになりますか。

#### 【ゆいなさんがまとめたこと】

ひき算では、引かれる数と引く数に同じ数をたしても、引かれる数と引く数から同じ数を引いても差は変わりません。このことを使うと、計算しやすいひき算の式で表すことができます。

右の.....の中に「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

#### 【ことねさんの計算仕方】

$$\begin{aligned} 400 \div 25 &= \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \quad \updownarrow \text{変わらない} \\ 1600 \div 100 &= 16 \\ \text{だから、} 400 \div 25 \text{ の} \\ \text{答えの } \square \text{ は、} 16 \text{ です。} \end{aligned} \quad \begin{aligned} 90 \div 18 &= \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \quad \updownarrow \text{変わらない} \\ 10 \div 2 &= 5 \\ \text{だから、} 90 \div 18 \text{ の} \\ \text{答えの } \square \text{ は、} 5 \text{ です。} \end{aligned}$$

わり算では、

.....  
このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

◇解答類型 ①わられる数やわる数に同じ数をかけることを表す言葉、②わられる数とわる数を同じ数でわることを表す言葉、③商が変わらないことを表す言葉

1 (正答)	2	3	4	0
①②③を解答	①③に又は、②③を解答	①②のみ解答	左記以外の解答	無解答
31.4%	6.9%	22.5%	7.8%	2.0%

【分析】本問は、示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質について言葉を用いて説明することができるかどうかをみる問題である。正答率は、31.4%であり、「数学的な考え方」を記述する問題である。指導に当たっては、①「四則計算が確実にできるようにする」、②「それらを適切に用いる能力を伸ばす」、③「数学的な考え方を説明する」場面を意図的・計画的に設定していく必要がある。



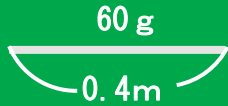
### (3) 小学校算数 授業改善のポイント

◇課題 「問題場面の数量の関係を的確に捉え（解釈し）て立式し、問題解決を図り、数学的に説明すること」 **正答率 31.4%**

数量の関係を的確に捉えて立式し、問題解決を図り数学的に説明しよう！

#### I 問題場面で提示された情報を取り出して整理する

0.4mの重さが 60gの針金があります。



この針金の長さを変えて、そのときの重さについて考えてみよう！

長さが 0.8m のとき、重さは 120g になります。

長さが 2 倍になると、重さも 2 倍になるのですね。

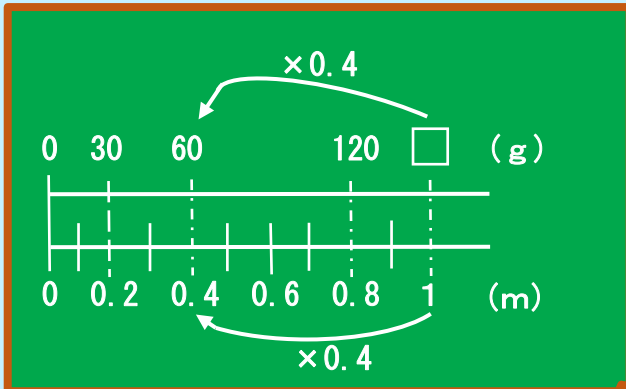
長さが半分の 0.2m のとき、重さも半分の 30g になります。

1m の重さが何g になるか考えてみましょう！

数を2倍にしたり半分にしたりするなどして、提示された情報を整理するなど考える場面を設定し、問題場面を把握することができるようにすることが大切です。

#### II 問題場面を数直線に表して考え、問題解決のプロセスを説明させる

それでは、針金の長さとう重さを、数直線に表して考えてみよう！



次に、どのように立式したか、説明してみましょう！

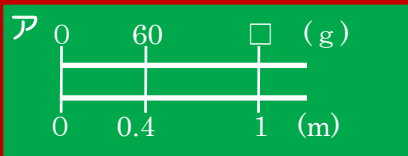
0.4m は、1m の 0.4 倍なので、60g も、□g の 4 倍になります。□ × 0.4 = 60 となるので、□ は 60 ÷ 0.4 を計算すれば求めることができます。60 ÷ 0.4 = 150 で、□ は 150 です。だから、1m の重さは 150g です。

問題解決（解き方）の過程を説明させる場面を意図的に設定することが大切です。

#### III 「II」で習得した数学的な考え方を活用する

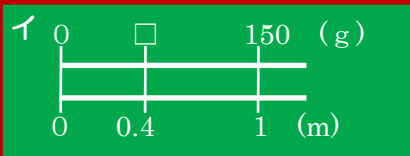
1～3の問題についてア、イ、ウから数直線図を、A、B、Cから式を選び、解き方を説明しよう！

1 1mの重さが 150g の針金があります。この針金 0.4m の重さは何g でしょう。



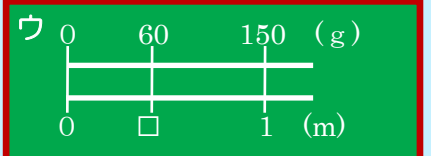
A 式  $\square \times 0.4 = 60$   
 $60 \div 0.4 = 150$

2 1mの重さが 150g の針金があります。この針金 60g の長さは何m でしょう。



B 式  $150 \times 0.4$

3 1mの重さが 150g の針金があります。この針金 60g の長さは何m でしょう。



C 式  $150 \times \square = 60$   
 $60 \div 150 = 0.4$

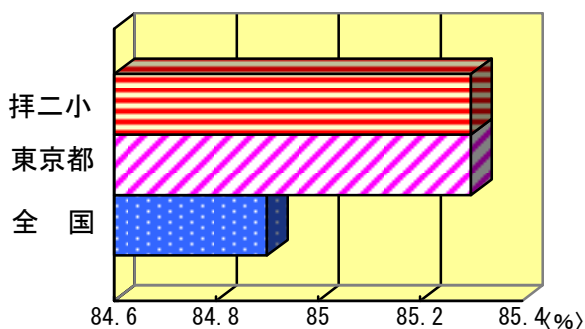
「基にする大きさ（基準量）」、「割合に当たる大きさ（比較量）」、「割合」のうち、どれを求めているのか、確認することが大切です。

## 5 学習や生活に関する児童質問紙調査結果の概要

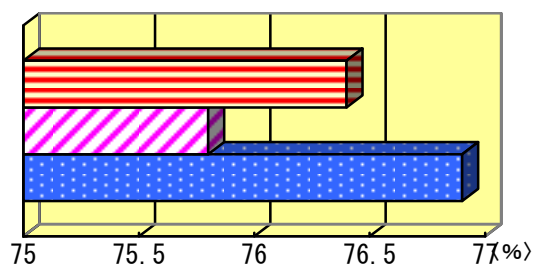
### (1) 学習（授業）に関する児童質問紙の結果

下記のグラフは、児童質問紙において、「当てはまる（時間が余った）」、「どちらかといえば、当てはまる（ちょうどよかった）」と回答した児童の割合を示している。

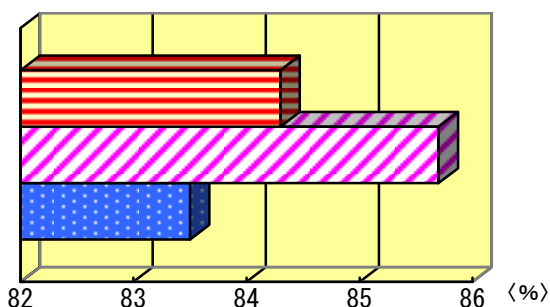
#### ① 国語の授業の内容はよく分かりますか。



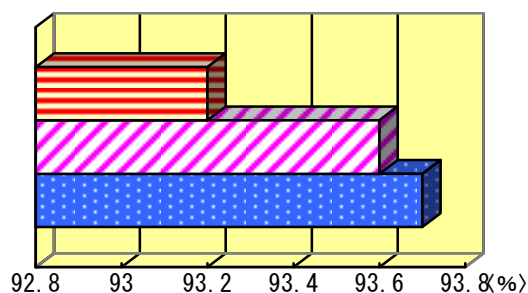
#### ② 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。



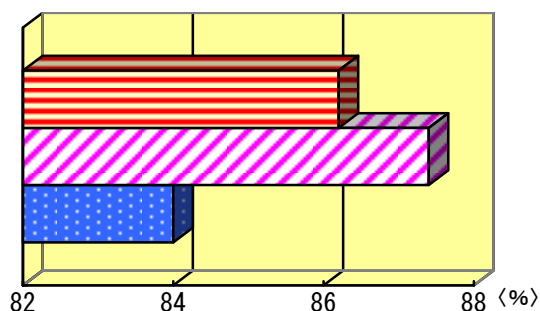
#### ③ 算数の授業の内容はよく分かりますか。



#### ④ 算数の勉強は大切だと思いますか。



#### ⑤ 算数の解答時間は十分でしたか。



◆ 国語科の平均正答率は、都平均より7ポイント、全国平均より8.2ポイント以上高いにも関わらず、授業の内容を理解していると回答した児童の割合は、都平均並みになっている。また、授業で学んだことを普段の生活に活用していると回答した児童の割合は、全国平均を下回っている。算数も同様な結果である。

◆ 「解答時間は十分であった」と解答した割合が、全国平均より高いが、無回答率は全国平均並みである。

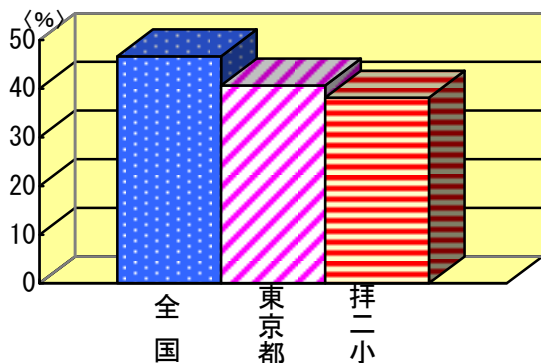
### 学習指導の改善ポイント

- 1 授業の「めあて」を明確にし、見通しをもたせ、振り返る場面を意図的に設定するなど「拝二小授業カスタンダード20」の徹底を図る。（単元ごとに達成項目を焦点化する）
- 2 学習の目的や意義を明確にし、身近な生活場面と関連付けて指導する。
- 3 教材提示の工夫、「学習問題の把握⇒仮説⇒追究⇒まとめ・表現」を通して、学習への児童の興味・関心を喚起し、学習意欲を持続させ、学習態度の定着を図る。

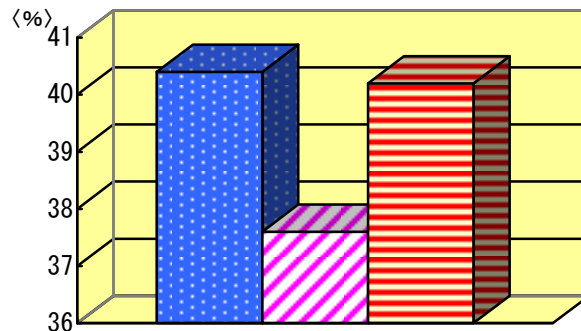
## (2) 道徳性や生活に関する児童質問紙の結果

下記のグラフは、児童質問紙において、「当てはまる」と回答した児童の割合を示している。

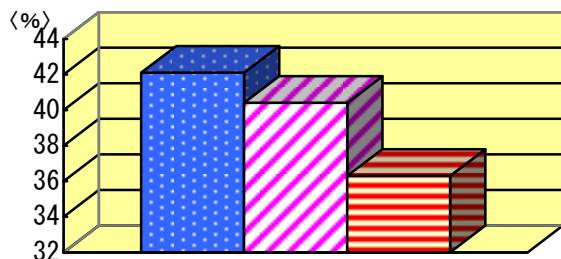
① 学校の決まりを守っていますか。



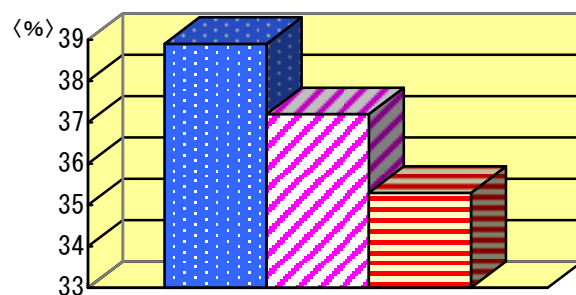
② 人が困っているときは進んで助けていますか。



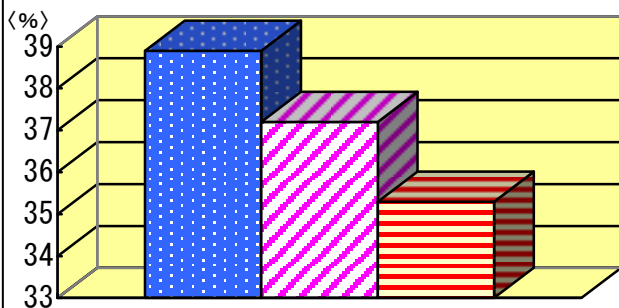
③ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。



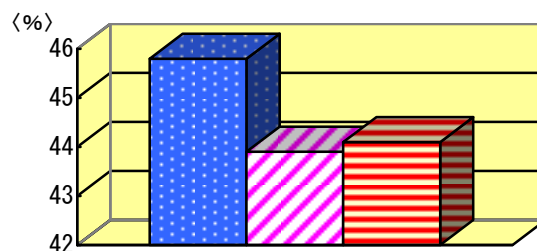
④ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



⑤ 将来の夢や目標をもっていますか。



⑥ 学級みんなで話し合っ決めてしたことなどに協力して取り組み、嬉しかったことがありますか。



### 道徳教育及び生き方指導の改善ポイント

- 1 「規則の尊重」、「親切・思いやり」を育み、「集団生活の充実」を図る指導を徹底するとともに、家庭との連携を図り生活習慣を確立。
- 2 「人間力向上プラン 特別の教科 道徳科における指導のポイント」(校長から資料提示)に基づいた道徳科授業の展開を図る。
- 3 「『自己の特徴・よさ』を見つめ、向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求できる」よう生き方指導の充実を図る。
- 4 「拝二小学級カスタンダード 20」に着実に取り組み、学級活動の質的向上を図る。

## 6 各教科等における授業改善のポイント

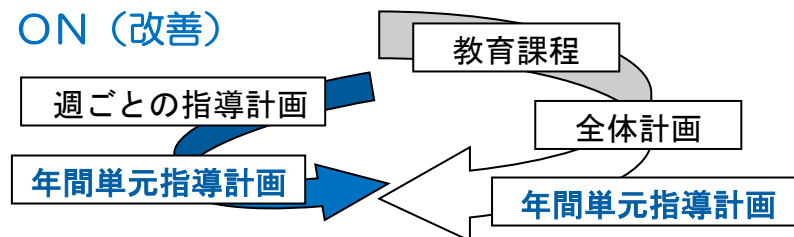
- (1) 授業に、次のような場面（段階）を意図的・計画的に設定する。
  - ① 複数の「連続テキストと非連続テキスト」から目的に応じた情報を正確に取り出す場面
  - ② 取り出した複数の情報を比較・関連付けて読み取る場面
  - ③ 読み取った内容の意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する場面
- (2) 「拝二小授業カスタンダード 2Over.1」に則った授業を展開する。
- (3) 新聞や「全国学力・学習状況調査」問題を教材として活用した授業展開を図る。
- (4) 令和元年、2学期から思考力・判断力・表現力向上を図るための手づくりテスト及び、論文問題を出題し、評価・改善を実施するなど PDCA サイクル化を図る。

## 7 カリキュラム・マネジメント

### (1)カリキュラムPDC（作成・実践・評価）

- ① <8月30日～10月18日> 教科用図書採択後、教科用図書を基に、「学校経営グランドデザイン」、「新学習指導要領」、「地域・学校・児童の実態」、「各種スタンダード、校長からの資料」を踏まえ、次の観点から、各教科担当（縦串）が年間指導計画案を作成する。  
<観点> 目標/主な学習活動・内容/評価/論理的思考力（表現力）・コミュニケーション能力/主権者教育(地域への愛着)/各教科等の関連
- ② <10月21日～11月22日> 年間指導計画案を、当該学年の各教科について「学校経営グランドデザイン」、「新学習指導要領」、「地域・学校・児童の実態」、「各種スタンダード、校長からの資料」を踏まえ、上記の観点から、各学年・専科担当（横串）が年間指導計画案をチェック（大胆に朱を入れること）する。
- ③ <11月25日～1月8日> 「②」を吟味・検討し、「学校経営グランドデザイン」、「新学習指導要領」、「地域・学校・児童の実態」、「各種スタンダード、校長からの資料」を踏まえ、上記の観点から、各教科担当（縦串）が年間指導計画を完成させる。

### (2) ACTION（改善）



★ 教育課程→全体計画→・・・←単元指導計画←週ごとの指導計画の、両方向からの評価改善を実施、それぞれを有機的に関連付け、系統化を図っていく。

#### ◇ 改善の視点

- ① 「何ができるようになるか」育成を目指す資質・能力について
- ② 「何を学ぶのか」学習（指導）内容（学ぶ意義）・教育課程の編成
- ③ 「どのように学ぶのか」学習（指導）方法・指導計画の作成
- ④ 「何が身に付いたのか」学習評価
- ⑤ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」発達を踏まえた指導
- ⑥ 「実現するために何が必要か」必要な方策